

## 第 1 期アクションプラン（中間案）に係る意見聴取の実施状況

### 1 実施期間

平成30年11月20日（火）～12月21日（金）

### 2 実施結果（アクションプラン全体）

区 分	参加(提出)数 (人・団体)	意見数(件)	備 考
県民・団体・市町村からの意見	2 0	8 1	
審議会・委員会等	1 2 4	2 2 6	期間内に開催した各部局所管の 審議会・委員会等で説明
計	1 4 4	3 0 7	
政策推進プラン（素案）策定時	6 6 1	2 3 4	長期ビジョンに係る意見244件 (全体478件)
「いわて県民計画」(案) 策定時	5 6 4	(3編のAP：政策 編、地域減、改革編) 1 6 6	長期ビジョンに係る意見102件 (全体268件)

### 3 各部局所管の審議会・委員会、出前説明会の参加者数内訳

審議会・委員会、出前説明会の名称	開催日	参加人数(人)
岩手県障害者施策推進協議会	11/20	1 1
農政審議会	11/21	1 3
県南広域振興局長による首長訪問	11/20～12/20	3 5
県央広域振興圏地域課題懇談会	11/22	1 1
県央広域振興圏経営懇談会	11/26	8
県北広域振興圏地域運営委員会議	12/6	9
沿岸広域振興圏大船渡地区連携懇談会	12/11	7
沿岸広域振興圏釜石地区連携懇談会	12/12	8
沿岸広域振興圏宮古地区連携懇談会	12/12	1 0
県北広域振興圏行政連絡協議会	12/17	1 2
計	—	1 2 4

#### 4 政策推進プランに対する御意見の項目別反映状況

	A 全部 反映	B 一部 反映	C 趣旨 同一	D プランの推 進に当たっ て参考	E 対応 困難	F その 他	計
I 健康・余暇			7	6		1	14
II 家族・子育て			2	1			3
III 教育		2	9	2			13
IV 居住環境・コミュニティ		2	5			1	8
V 安全			1	1			2
VI 仕事・収入	3		2	6		7	18
VII 歴史・文化						1	1
VIII 自然環境	1	1	4				6
IX 社会基盤			2	2		2	6
X 参画							
その他						2	2
計	4	5	32	18		14	73

#### ※各反映区分の内容

- A：意見の内容の全部を反映し、政策推進プランを修正したもの
- B：意見の内容の一部を反映し、政策推進プランを修正したもの
- C：意見と政策推進プランの趣旨が同一であると考えられるもの
- D：政策推進プランの推進に当たって参考とするもの
- E：A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
- F：その他のもの（政策推進プランに関する質問への回答等）

#### （参考）復興推進プラン・地域振興プラン・行政経営プランに対する御意見の項目別反映状況

A 全部 反映	B 一部 反映	C 趣旨 同一	D プランの推 進に当たっ て参考	E 対応 困難	F その 他	計
13	9	121	61	0	30	234

### 政策推進プランに対する主な御意見

反映区分	主な御意見
A 全部反映	<p>総合計画審議会及び県議会から出された意見に対する反映分も含めた主な変更内容は「資料3」のとおり。</p>
B 一部反映	
C 趣旨同一	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康寿命の延伸が、個人のQOLの維持、社会的負担の軽減につながると思うが、「平均寿命と健康寿命の差」を追加するべきではないか。</li> <li>○ 良質な医療の提供とともに県内の均一な地域包括ケアシステムの推進にはリハビリテーション専門職種の配置も重要であり、県北部・沿岸部におけるリハビリテーション専門職種並びにリハビリテーション資源の確保を明記されてはいかがか。</li> <li>○ 国会で、外国人労働者の受入拡大が議論されているが、今後、生活上の課題や困り事相談が増えてくるのではないかと思う。対応できる窓口が必要ではないか。</li> <li>○ 地球温暖化防止対策の一つとして、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの導入促進は有効であると認識しているところだが、再生可能エネルギー発電施設の整備については、開発に伴う自然環境や景観への影響、また、施設の安全性等についても懸念される。</li> <li>○ 情報化社会、インターネット社会が進行していくが、町内に光ファイバーがないところある。高齢社会見守りするとき、ICTを活用したいが、予算、体制が課題。第4次産業革命の進行により情報格差が広がっている。</li> </ul>
D プランの推進に当たって参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ダブルケア問題などで、働くこと自体を諦めてしまう人の増加が問題となっている。こうした方々への支援として、「テレワーク」などの様々な働き方の拡大を図ることが復職につながるものと考えている。</li> <li>○ 特別支援教育について、「通学支援」が盛り込まれているのは、良いことと考える。 どの地域においても、安心して義務教育が受けられるよう仕組みづくりに取り組んでいただきたい。</li> <li>○ 農家や県民が、この計画を見たり読んだりし、自分の経営計画や県の定める目標達成に向けて、これから、これを、このように進めて行こうと具体的にイメージしながら頑張れるものにしていただきたい。</li> <li>○ 産業集積している地域で、ICT人材も育成する考え方でやってほしい。現実に抱えている課題に対する対応をしてほしい。</li> </ul>
E 対応困難	—
F その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成果としての指標よりも、達成経路を示す指標の方が実質的ではないかと考えるがいかがか。</li> <li>○ 人工知能を活用した取組として、具体的にどのようなものを考えているか。</li> </ul>